



Press Release

ステート・ストリート・インベストメント・マネジメント、 日本で 2 本の公募投資信託を設定

設定当初は楽天証券のみで販売、同社プラットフォームにおける最も低コストのゴールドファンド

2025 年 7 月 17 日、東京 – ステート・ストリート・コーポレーション（NYSE: STT、本社：米ボストン）の資産運用部門であるステート・ストリート・インベストメント・マネジメント¹は本日、日本で 2 本のゴールドの公募投信を新規に設定することを発表しました。公募投信はいずれも、国内の投資家に対して金へのアクセス向上を図ることを目的として 2025 年 8 月 14 日に設定、運用を開始する予定です。

新たな公募投信、「ステート・ストリート・ゴールド・オープン（為替ヘッジあり）」および「ステート・ストリート・ゴールド・オープン（為替ヘッジなし）」は、金のスポット価格（日本円建て LBMA ゴールドプライス PM）の動きに連動することを目指します。当公募投信の投資対象は、ロンドン、ニューヨーク、チューリヒの金庫に安全に保管された現物の金地金を裏付けとする SPDR®ゴールド・ミニシェアーズ®（GLDM）で、公募投信の運用管理費用は年率 0.2925%程度（消費税抜き 0.2750%程度）です。

ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントの常務執行役員 金融法人営業部長 稲 寛彰は、「ポートフォリオの分散を図りたい日本の投資家の間で高まる金への需要に応えるため、ワールド ゴールド カウンシルと連携し、国内の金投資ソリューションの拡充ができるこことを大変うれしく思います」と述べ、さらに、「投資家は、米ドル安のリスクを軽減できる為替ヘッジあり、または金価格の上昇に加えて円安ドル高の恩恵も享受できる為替ヘッジなしという 2 つの選択肢から、戦略的にゴールド公募投信にアクセスすることができます。ニーズに応じて、すでに日本で上場しているゴールド ETF を通じて金に投資することも可能です。この度の新規設定は、日本の投資家の皆様により多くの選択肢を提供するというステート・ストリート・インベストメント・マネジメントの継続的なコミットメントを反映したものです」とコメントしました。

今回日本市場に導入される 2 本のゴールド公募投信は、金投資の長年にわたる革新の歴史における最新の取り組みとなります。2004 年、ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは、ワールド ゴールド カウンシルとともに、世界最大かつ最も取引されている現物を裏付けとするゴールド ETF である² SPDR®ゴールド・シェアーズ（GLD®）を米国初で設定し、2008 年に東京証券取引所（TSE 銘柄コード：1326）に重複上場しました。さらに 2018 年には、総経費率がさらに低いゴールド ETF、SPDR®ゴールド・ミニシェアーズ®（GLDM）を設定しました。

ゴールド ETF、SPDR®ゴールド・ミニシェアーズ®（GLDM）は新 NISA の対象であり、新たなゴールド公募投信についても新 NISA の成長投資枠に登録する予定です。



ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントのゴールド・ストラテジスト アーロン・チャンは、日本の投資環境について、「日本では、NISA 制度の拡充により、投資を始めたばかりの個人が従来型の投資以外にも目を向け始めており、より幅広い金融商品を提供することの重要性が高まっています」と話し、「市場のボラティリティが高まる中、多くの投資家は株式や債券といった伝統的資産に加え、ポートフォリオの分散を図る手段として金などの代替資産に注目しています」と説明しました。

金は、2025 年前半に繰り返し過去最高値を更新し、この期間における世界で最も好調なパフォーマンスを示す資産の一つとしての地位を確立しています。

ワールド ゴールド カウンシル アジア太平洋地域（中国除く）責任者 および中央銀行担当グローバル責任者であるシャオカイ・ファン氏は、「中央銀行による堅調な買いと、アジアの投資家からの金に対する需要の高まりが、金価格の上昇を後押ししています。私たちは、金市場にはまだ上昇余地があると考えています」と述べるとともに、「金価格は、貿易政策の不透明感、ETF の資金流入、景気後退リスク、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げの可能性といった戦略的要因に加え、中央銀行の需要、各国の債務負担、脱ドル化の流れといった構造的要因によって支えられると予想しています」と見解を示しました。

当公募投信は、設定当初は楽天証券のみでの販売となります。現時点で楽天証券が取り扱う公募投信の中で最も低コストのゴールド公募投信です。

ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは現在、世界中で金関連商品を提供しており、運用資産残高は約 1,200 億米ドル³ にのぼります。

¹ ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の資産運用関連業務のブランド名です。

² 出所：Bloomberg Financial L.P.、ステート・ストリート・インベストメント・マネジメント（2025 年 6 月 15 日時点）

³ ステート・ストリート・インベストメント・マネジメント（2025 年 6 月 13 日時点）

ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントについて

ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは、約半世紀にわたり、機関投資家、金融プロフェッショナル、そして個人投資家の皆様に、より良い成果をもたらすお手伝いをしてきました。インデックス運用や ETF における革新に始まり、当社の厳格なアプローチは、市場で実証された専門知識と、お客様への搖るぎないコミットメントによって支えられています。現在、運用資産は 5 兆米ドル*を超える、60 カ国以上のクライアントと、そしてグローバル規模の戦略的パートナーと共に、投資家の皆様が目指すあらゆるゴールに到達するための、包括的でコスト効率の高い投資ソリューションを提供しています。



ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは、ステート・ストリートの資産運用関連業務の新しいブランド名です。

*2025年6月末時点、ETFの運用資産総額1兆6,898.3億米ドルを含み、そのうち約1,160.5億米ドルは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビューターズ・エルエルシー（「SSGA FD」）がマーケティング・エージェントを行っているSPDRの金の資産です。SSGA FDはステート・ストリート・インベストメント・マネジメントの関連会社です。すべての運用資産残高は監査前の数値です。

About World Gold Council

We are a membership organization that champions the role gold plays as a strategic asset, shaping the future of a responsible and accessible gold supply chain. Our team of experts builds understanding of the use case and possibilities of gold through trusted research, analysis, commentary, and insights. We drive industry progress, shaping policy and setting standards for a perpetual and sustainable gold market.

You can follow the World Gold Council on X (Twitter) at [@goldcouncil](#) and [LinkedIn](#).

【本件に関するメディアからのお問い合わせ先】

ステート・ストリート 広報部

Japan_Corp_Comms@jp.statestreet.com

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー25階 Tel: 03-4530-7152

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第345号

加入協会：一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

ご留意事項

投資には、元本毀損のリスクを含むリスクが伴います。

過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスの信頼できる指標とはなりません。

本稿の全部または一部の複製、複写、転送等を禁止し、いかなる内容についてもステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズによる事前の書面での同意なしに、第三者に開示してはなりません。

すべての情報は、別段の記載がない限り、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズによるものであり、信頼できると考えられる情報源から入手したものですが、その正確性を保証するものではありません。これらの情報は、現在の正確



性、信頼性もしくは完全性、またはこれらの情報に基づいた意思決定に対する責任についての表明や保証はなく、これらの情報はそのようなものとして依拠されるべきではありません。

コモディティへの投資は大きなリスクを伴うため、すべての投資家に適した投資対象ではありません。コモディティは、価格変動要因が多岐にわたり極めて価格変動が大きいことから、投資に際しては非常に大きなリスクを伴います。たとえば、市場全般の動き、実際の、または認識されたインフレ基調、コモディティ・インデックスのボラティリティ、海外情勢/景気/政治情勢の変化、金利や為替レートの変化などの要因があります。

LBMA 金価格は ICE BENCHMARK ADMINISTRATION LIMITED (IBA)が独立して管理し、価格算出のためのオークション・プラットフォームを提供していますが、知的所有権は LBMA に帰属します。プラットフォームは、電子的に取引および監査が可能で、証券監督者国際機構（IOSCO）の金融ベンチマークに関する原則に沿って設計されています。

不動産および不動産、貴金属、天然資源などの実物資産セクターへの投資には、リスクが伴います。投資は、これらの業界に関連するイベントによって大きな影響を受ける可能性があります。

通貨リスクとは、ある通貨が他の通貨に対して価格変動することによって生じるリスクの一種です。投資家や企業が国境を越えて資産や事業を所有している場合、それらのポジションがヘッジされていなければ、必ず通貨リスクに直面します。

投資信託に関するご留意事項

【お客様にご負担いただく手数料】● 購入時手数料：ありません。● 換金時手数料：ありません。● 信託財産留保額：ありません。【お客様に間接的にご負担いただく手数料】● 運用管理費用（信託報酬）：ファンドの日々の純資産総額に対して、各ファンドの料率を乗じて得た額。● その他の費用・手数料：ファンドの監査にかかる費用等が発生します。※これら手数料等の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。【投資信託に係る費用について】詳細はファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み、損失が生じることがあります。投資信託には、金の価格変動リスク／株価変動リスク／金利変動リスク／信用リスク／為替変動リスク／流動性リスク／投資対象国への投資リスク等、様々なリスクがありますが、基準価額の変動要因はこれらに限定されるものではありません。

投資信託は 1. 預貯金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

ETFに関するご留意事項

ETFは、主に株式や債券などの有価証券、また金などのコモディティ、あるいはその他の資産に投資を行います。投資対象としているこれらの資産の値動きにより、ETF の基準価額が下落することがあります。これらの資産への投資には、市場リスク、金利リスク、カントリーリスク、信用リスク、為替リスク、流動性リスク等、様々なリスクがあり、ETF も同様のリスクが



伴います。これらのリスク要因により、ETF の市場価格が下落する場合があります。その為、投資元本を割り込む恐れがあります。ETF は流通市場において株式と同様に取引されますが、取引価格は変動し、基準価額を下回ることがあります。また、常に取引可能であるとは限らず、市場環境が悪化している場合は、取引価格が大幅なディスカウントとなる可能性があります。ETF には上場廃止リスクがあり、純資産規模が縮小するなど、運用が困難になった場合や、上場取引所の上場基準に合致しなくなった場合、上場廃止となることがあります。これらは主なリスクであり、ETF への投資に係るリスクはこれらに限定されるものではありません。

© 2025 State Street Corporation. All Rights Reserved.

8137060.1.1.APAC.RTL

Exp. Date: 30/06/2026